



# 松山通信1・2・3月号

## Matsuyama Press

第5号  
発行日：平成30年3月20日

# 第六十八回卒業証書授与式

## 4名の生徒が卒業しました。



3月2日(金)、多くの御来賓の御臨席のもと、第六十八回卒業証書授与式が挙行され、4名が卒業しました。

式では、校長式辞に続き、高梁市教育長様、高梁市長様、後援会長様から、それぞれ温かい激励のお言葉を頂きました。在校生を代表として大森雅弘くんは、「先輩方は在学中、日中は仕事やアルバイトに行きながら、仕事終わりに学校に来て、勉強するという忙しい日々を過ごしてこられました。これは決して簡単にできることではありません。(中略)行事などではしっかりと団結し、それぞれが力を発揮して助け合い、素晴らしいものを作り上げていました。そんな先輩方の姿は『仲間と協力して物事に取り組むこと』の大切さを私たちに教えて下さいました。」と、これまでの卒業生の姿を思い返しながら、感謝の気持ちを込めて送辞を述べました。

卒業生代表の岩原勝正くんは、4年間を通して学んだ「諦めずにやり抜くことの大切さ」「未来を見ること」、クラスメイト一人一人への感謝の気持ちを述べた後、「松山高校は少数の学校ですが、私は学校行事など、みんなで協力して目標を達成しようとする雰囲気がとても好きでした。これからも皆さんで協力して学校をより良いものにし、楽しい時間を過ごしてください。」と、在校生にメッセージを残してくださいました。最後に、これまでに支えてくれた両親への感謝の気持ちを述べて、答辞を締めくくりました。式の最後には卒業生、在校生、教職員で校歌を歌いました。

式後には生徒会行事が行われ、在校生が卒業生へ花束を贈呈し、感謝の気持ちを伝えました。そして、卒業生も「素晴らしい式にしてくれてありがとう」「自ら積極的に行動し、充実した松高生活を自分たちでつくってほしい」など、在校生へのメッセージを一人一人述べました。最後は、在校生、教職員で花道を作り、卒業生たちを盛大に送り出しました。

### 【卒業生表彰 一覧】

○方谷賞 三村 知里 さん

○岡山県定時制通信制教育振興会会長賞 新田 基樹 くん

○岡山県産業教育振興会特別表彰 松本 和希 くん

○後援会長賞 岩原 勝正 くん



卒業証書授与



在校生代表 送辞



卒業生代表 答辞

生徒会行事の様子



# 卒業おめでとう!





# 4年生を囲む会

2月16日(金)に4年生を囲む会が行われました。生徒会を中心にお世話になった4年生に楽しんでもらえるよう、在校生で協力して準備しました。

会の前半では1、2、3年生が準備した食事を4年生と一緒に食べました。各学年のテーブルを4年生が順番に回り、下級生や教員との話と食事を楽しみました。思い出のムービーが流れた際には、松高生活を振り返って、懐かしむ様子も見られました。

後半はグループに分かれてトランプを行いました。七並べとぼぼ抜きを行い、それぞれのグループの勝者同士でじゃんけんをし、勝った人には生徒会から景品が贈られました。

最後に在校生から色紙とプレゼントが贈られ、4年生から一言ずつお礼の言葉が述べられました。残り少ない松高生活の中でも、思い出に残る一日となりました。

## その他の学校行事



教育相談講演会 (1月23日)

新見公立短期大学から住本克彦先生に来ていただき、ストレスマネジメントやリラックスするための呼吸法などを教わりました。



豆まき (1月30日)

1～4年生で豆まきを行いました。鬼役の教員と生徒に豆を投げ、今年の幸福を願いながら豆を食べました。



将棋大会 (2月20日)

体験学習の時間に1～3年生で将棋をしました。初心者から経験者まで、一生懸命頭を振り絞って考えながら楽しみました。

## ふれあいマラソン

2月11日(日)に高梁ふれあいマラソンが行われ、本校からは生徒5名、教員7名がランナーとして参加しました。当日に向け、学校の周囲を走るなどの練習も行いました。5キロ又は10キロに参加し、走り終えた生徒の顔からは、達成感と充実感が伝わってきました。

また、総合的な学習の時間に作成したフォトブースを設置するとともに、応援に来ていた生徒は3キロを完走した子ども達へ完走メダルを手渡しました。



フォトブースでの記念撮影



完走メダルを渡す生徒

### 新年度の登校について

平成30年度始業式は  
**4月9日(月)**です。

通常通り **17:40**に遅刻しないように登校してください。

なお、  
4月10日(火) 入学式  
4月11日(水) 授業開始  
です。

2月3日(土)に倉敷南高校で行われた岡山県定通冬季バドミントン大会に、2年生の藤本拓実くん、1年生の樋上雅治くんと山本楓夏さんの3名が出場しました。山本さんがB級シングルスで準優勝という成績を残すことができました。練習の成果を発揮できず、悔しい思いをする事もありましたが、好プレーが出た試合もありました。この大会で得たことを生かして来年度の活躍につなげていってほしいと思います。



## バドミントン冬季大会

### 1. 教育方針

学びつつ働くことのできる夜間定時制高校としての特性を生かし、生徒、保護者、地域社会から信頼される学舎として、自ら求めて学ぶ人物の育成に努める。

### 2. 教育目標

- (1) 地域社会への貢献と協働の精神の育成
- (2) 豊かな知性と情操に基づく文化的想像力の育成
- (3) 勤労を尊び、責任を重んじる職業観・勤労観の育成

### 岡山県高梁市立松山高等学校



電話 0866-22-3618

FAX 0866-21-1007

HP: <http://www.sc.city.takahashi.okayama.jp/matsuyamako/>

検索キーワード

「希望の翼 松山高校」

## 働きながら学ぶ

